

平成 21 年 1 月 15 日

「社会人の学び直し講座」他校訪問調査報告書

相手校：お茶の水女子大学

事業の名称：「理科教育支援者養成プログラム」

日 時：平成 21 年 1 月 14 日（水）10：00～12：00

場 所：お茶の水女子大学 理工学部 1 号館 東京都文京区大塚 2-1-1（〒112-8610）

対応者：サイエンス&エデュケーションセンター 宮本康司氏

訪問者：清武博文， 前稔文

報告内容

（1）応募の背景・動機

- ・ 理科教育支援を継続的にしているところに、学びなおし事業に応募した。
- ・ また、サイエンスを一般化させる観点から理科支援を行っている。

（2）運営体制・組織

- ・ 北区ならびに文京区の教育委員会と共に実施委員会を組成している。
- ・ 宮本康司講師、佐藤典子、千葉和義（センター長）
- ・ 学内での担当部署： 教育機構 教育企画チーム 教育企画係 千葉様

（3）事業内容

- ・ 講座の内容：理科教育支援者養成プログラム（小学校における理科教育支援の人材養成）
- ・ 日時・実施期間・実施時間（回数、時間数）
 - 初級コース：IT 入門 3 回、理科実験 3 回（4 時間 / 回）
 - 中級コース：学校リテラシー 2 日、理科実験 6 日、IT 教材導入実践 2 日
- ・ 基本的にはお茶の水女子大で行うが、視察時は文京区立第 7 中学校理科室であった。
- ・ 受講料：無料
- ・ 募集・広告等：受講者は HP や口コミで知って応募しており、自分たちでは特にしていない。教育委員会や教育研修の場で言うのみ。
- ・ 受講対象者：現在の受講者は、理系出身で子育てが一段落された方、来年より先生になる方、定年された方が主である。現在の受講者は定員 20 名に対して 13 名である。
- ・ カウンセラー：常駐はせず、宮本先生がカウンセラーの役割も兼ねている。
- ・ 修了認定：演習問題のうちから選択し、全員の前で実施する。チェック項目をクリアしているかを減点式で採点し、7 割で合格としている。
- ・ 修了証書・履修証明等： 認定証と合格検定書の 2 種類を用意している。
- ・ 証明証の有効性：社会通用性のあるものとして発行していると自負している。
- ・ 資格試験の勧め：理科検定はあるけれども、お茶の水女子大のもので十分と考える
- ・ 講座講師および補助：宮本康司、佐藤典子、千葉和義ら 1 名に加え TA。
- ・ 受講者の正社員への採用：宮本先生が何人か教育委員会に紹介しているが、現実には難しい。
- ・ 今後の予定 継続できる準備はしている。文部科学省や JST などの協力および要請等あれば継続する。

（4）評価体制等

- ・ 評価体制：外部評価委員 3 名
- ・ 受講者がその後就職について： 宮本先生が教育委員会の委員をしているため、そこで把握できる。

(5) その他

- ・ 特質すべき点：毎回、講義の様子をビデオ撮影している。
- ・ 特色：アンケート実施（各回？）

